

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：相楽東部広域連合

プロジェクト名	相楽東部広域連合ネットワーク		実施期間	平成26年度～平成28年度	テーマ	行革	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	相楽東部3町村は近隣町村の大規模開発の取り残しから、特に京都府南部の都市化と反対に若年層の急激な流出や少子化の影響を受け、過疎・高齢化が進む自治体となっている。そのため、本来の自治行政が平常化しづらく、特に休眠サービスが関わるところでスケールメリットを活かせる分野において3町村が連携を図り、住民の負担を少しでも軽減しつつ、より効率的な公共サービスが提供できるように取り組んでいる。							
プロジェクトの目的及び概要	広域的なスケールメリットを活かした住民サービスの提供として、質の良い情報発信や効率的な業務処理、次世代を担う若者にきめ細やかな学習機会の提供等を目的とする。							
	総事業費（千円）	236,628	本年度事業費（千円）	71,026	交付金額（千円）	13,126		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	学力充実強化事業	交付金事業	管内5小中学校に非常勤講師・特別教育支援員を派遣			管内小中学校に非常勤講師3名、特別教育支援員8名を配置。		
	東部クリーンセンター維持改良事業	交付金事業	施設延命化を目的とした施設維持改良事業			バグフィルター整備工事・ごみクレーン整備工事・1号井戸浚渫及びポンプ取替工事		
	学校施設維持改良事業	交付金事業	管内小中学校施設について延命化・学習環境改善・安全化を目的とした施設維持改良事業。			和東小学校上下水道接続工事・笠置中学校空調設備工事・笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
住民協働事業	廃棄物処理事業	関連事業	廃棄物処理（新たな処理方法へ向けての検討・3町村合同でのごみの減量化）			3町村と連合で設立したごみ処理検討委員会にて今後のごみ処理と減量化の対策について協議。		
	各種社会教育事業	関連事業	3町村合同事業（スポーツ交流会・夏祭りなど）			小学生を対象としたスポーツ交流会・スキー教室の開催・連合教育委員会が主催する夏祭りを実施		
住民が取り組む事業	各種講座の開催・受講	関連事業	住民自らが企画・開催・参加する講座			歴史講座・茶道教室・生花教室など		
成果指標①	成果指標の目標数値	高等学校への高進学率の維持			成果指標の実績値（28年3月31日時点）	笠置中学校平成27年度：24名/25名 和東中学校平成27年度：25名/25名		
	成果指標の達成状況	○	(左の理由) 両校とも非常に高い合格率を維持しているため。					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)			(時期)		
成果指標②	成果指標の目標数値	笠置・和東中学校の漢字・英語検定の合格率（いずれも100%）			成果指標の実績値（28年3月31日時点）	笠置中学校：漢字検定 12%（3級以上） 和東中学校：漢字検定 10.7% 英語検定：15.5%（いずれも3級以上。）		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由) 中学校卒業までに3級以上の合格を目標にしているが、その目標が達成できていないため。					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)			(時期)		
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師や特別教育支援員を各学校に配置し、授業の補助（フォローアップ）を図ることで児童・生徒の学力向上につながった。 ・漢字検定、英語検定3級以上の合格率が低い。そこで、授業の中で合格に向けて教育することに加えて、授業外で各家庭においても勉強することを生徒達に啓発することにより、合格率を上げ、これから必要になる英語力・漢字力を磨く。 							
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応策についても記載すること。							
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	教育委員会が企画するイベント（スポーツを通じた住民同士の交流会や毎年7月に開催している夏祭り等）や、住民自身が企画し、行っている各種講座との連携効果により、地域住民の人々の心身をともに豊かにすることができた。廃棄物処理に関しては住民に対して、ごみの減量や分別の徹底を啓発することにより、環境に対する意識を向上させることができた。						
	府と市町村等との連携に資する成果							
	住民の自治意識を高める成果							
	リーディング・モデル成果							
	広域的波及成果							
	行財政改革に資する成果	廃棄物処理施設（東部クリーンセンター）を改修整備することで、施設の延命化を実現できた。						
	その他の成果	クリーンセンターの施設は耐用年数の約半分を経過しており、整備不良による施設全体の負担増を未然に防止することができた。						

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは－を記載すること。